

## 【面接官の印象】

### 1. 外国人面接官の印象

50～60 才ぐらいの白人男性。無口で愛想が良くない感じ。

### 2. 通訳ガイド

40 才ぐらいの男性。小柄でこちらもあまり愛想が良くない感じ。

最初に部屋に案内され、生年月日、名前等を英語で聞かれたが、早口の上に、もごもごしゃべるのでよく聞き取れない。

“What is your birth date?”と言っているのだろうが、聞き取れず、はあ？という感じで3回聞き直してしまった。

### 3. 通訳試験について

《出題された日本文》

忍者について（あまり詳しくは覚えていないが）

忍者には二つの目的がある。一つは、敵地に侵入して破壊工作や暗殺を行なうことである。

もう一つは、変装して敵地に入り込み、情報を収集することである。

《自分の解答》

ほぼ、概略は訳せたとは思いますが、細かいところは抜けてしまった。変装するという単語 (disguise) が思い出せず, pretend to be common people とかなんとか言ったように思います。

### 4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

①蒸気機関車

②忍者

③神楽

《選択したトピック》

『 忍者 』

《発表した内容》

なんと、通訳試験の問題と同じトピックが入っていた！

他の2つはまったく自身がなかったので迷わずこのトピックを選択。

発表はあまりよく覚えていないが、その場で頭に浮かぶことがあまりなく、通訳試験と重複が多かった。簡単には以下のようなようだったか？

They live in mountain villages and work as secret agents or assassins for hire.

Feudal lords often employed them to collect important information.

Iga and Koga Ninja were famous.

In a peaceful time they were not needed, so gradually they were disappear when Edo

period was ended.

## 5. 質疑応答について

質問のみ列挙：

忍者の目的は？

忍者はどんなことを習うのか？

忍者はいついなくなったのか？

忍者は何歳くらいからトレーニングを始めるのか？

忍者映画を見たことあるのか？

最後の質問で、忍者映画を全く思い出せず！かすかに、どこかで「石川 五右衛門」のタイトルで大阪城に忍び込むシーンが頭に浮かんだので、そのことを説明。試験管が、かれは成功したのか？と聞かれたので、失敗して釜茹でになったと説明したら、ちょっと笑っていたようだった。

## 6. 試験を終えての感想

まとまりのないプレゼンだったが、身近なテーマだったので何とか2分間話を持たせられた。今回のテーマは、事前に練習したテーマとは傾向が全く異なっていたので、戸惑った。ただ、アカデミーの直前セミナーでプレゼンの練習をしていたので、慣れだけでどうにか2分間を乗り切れたように思う。(プレゼンの中身はレベルの低いものだったように今は思っています)